

新潟漢字同好会 主催

謎の漢字

毎年恒例の早稲田大学の笹原教授の講座です。テレビや講演会で、すでにご存じの方も多いと思いますが、一度受講したら、また何度も参加したくなる充実度です。この機会に、参加してみたいかですか？

演題 「 誤字とは何か 」 — 付・パリジェンヌと漢字 —

- 日 時：平成29年12月10日（日）10：00～12：00
- 場 所：新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」TEL025-248-8141
新潟市中央区笹口1-1（ジュソウ堂と同じビルです）
- 講 師：笹原宏之教授（下記プロフィールをご覧ください）
- 料 金：無料 定員 60名 但し、事前に下記会長又は事務局へ連絡をお願いします
同好会会員は、ハガキにて申し込みください 締切 11月20日



===== 講師プロフィール =====

笹原 宏之（ささはら ひろゆき）

早稲田大学 社会科学総合学術院 教授

1965年、東京都生まれ。文学博士（早稲田大学）。早大ティーチングアワード受賞。早稲田大学第一文学部で中国語学を専攻、同大学院文学研究科では日本語学を専攻。古代の金石文から現在のインターネットに至る資料を対象に、さまざまな漢字・文字・表記について調査研究する日本語学者。経済産業省の「JIS X 0208」などの委員として「𪗇」「糲」などの幽霊文字の正体を明かし、法務省の法制審議会人名用漢字部会の幹事として「莓」「腥」などに人気が出ていることを掘り起こす。文部科学省の文化審議会国語分科会の委員として「常用漢字表」の改定に携わった。「貳千円札」、「さいたま市」の創設にも関わる。『新明解国語辞典』や国語教科書の編集委員、NHK放送用語委員、日本漢字能力検定協会（漢検）の漢字研究奨励賞の審査員も務めている。文化女子大学専任講師、国立国語研究所主任研究官などを経て、2007年より早稲田大学社会科学総合学術院 教授。著書に、『日本の漢字』（岩波新書 2006）、『当て字・当て読み 漢字表現辞典』（三省堂 2010）、『漢字に託した「日本人の心」』（NHK出版新書 2014）、『日本人と漢字』（集英社 2015）、『謎の漢字』（中公新書 2017）などがあり、『国字の位相と展開』（三省堂 2007）により、第35回金田一京助博士記念賞を受賞。2017年 白川静記念東洋文字文化賞受賞。

主 催：新潟漢字同好会

連絡先：会 長 平沢 0258-35-6572

事務局 太田 090-8640-8761

※この活動は、公益財団法人 日本漢字能力検定協会 漢字まなび活動助成制度の助成を受けて、行っています。